

しさ こしょう とは (こうか と やりかた)

1. しさ こしょう とは

しさ こしょう とは、きけん よち かつどう (KY かつどう) として、さぎょう たいしょう、ひょうしき、しんごう、けいき るい とう に ゆびさし を おこない、その めいしょう や じょうたい を こえ に だして かくにん すること です。
ぎのう じっしゅう で しっかり まなびましょう。

2. しさ こしょう の こうか

にんげん の とくせい から おきる あやまった そうさ (ご そうさ)・あやまった はんたん (ご はんたん)・あやまった さぎょう (ご さぎょう) などの ひゅーまん えらー が じこ や ろうどう さいがい および さぎょう の みす の げんいん と されていますが、その ひゅーまん えらー を ふせぐ しゅだん として、しさ こしょう は もっとも こうか できな ほうほう であり、にほん の ものづくり で ひろく かつよう されています。

なぜなら、しさ こしょう することは、ひと の きんちょうかん や しゅうちゅうりよく を たかめる こうか が あり、かがくてき にも ちゅういりよく ・ しゅうちゅうりよく が よくなる ことが しょうめい されている から です。

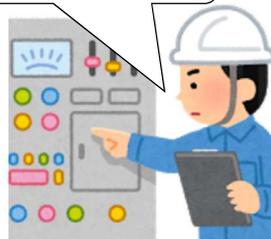
3. しさ こしょう の ただしい やりかた

① たいしょう を しっかり みる

② たいしょう を ゆび(ひとさし ゆび) で さす

こしょう する こうもく「〇〇」を かんけつ に こえ に だしながら、みぎうで を まっすぐ のばし、たいしょう から め を はなさず、ひとさし ゆび で たいしょう を ゆびさし します。

「らんぷ てんとう」



③ さした ゆび を みみもと へ

さした みぎて を みぎ の みみもと まで もどしながら、「ほんとう に よいか、ただしいか、あつて いるか」、くりかえし たしかめます。

ほんとう に よいか?



④ みぎて を ふり おろします

かくにん が できたら「よし！」と はっせい しながら、たいしょうぶつ に むかって みぎて を ふり おろします。



4. ぎのう じっしゅう での しさ こしょう の れい

いっぱんてきな しさ こしょう の れい を しめします。まいにち じっしゅう しながら、たいけん することで、しさ こしょう が かならず できる ように まなびましょう。

① じこうぐ の てんけん

じこうぐ を てんけん したあと に、いか を しさ こしょう する。

「はさみ、よし」「につぱー、よし」「めりーかつたー、よし」「ないふ、よし」
「ほっとめす、よし」「ろーらー、よし」など

② そくてい き の てんけん

そくてい き を てんけん したあと に、いか を しさ こしょう する。

「のぎす、よし」「すけーる、よし」「はかり、よし」「まいくろめーたー、よし」
「だいやるげーじ、よし」「ねんどけい、よし」など

③ さぎょう ばしょ の てんけん

さぎょう ばしょ を てんけん したあと に、いか を しさ こしょう する。

「さぎょう すぺーす、よし」「つうろ すぺーす、よし」「ゆかめん、よし」など

④ せつび の あんぜん てんけん

せつび の あんぜん てんけん を したあと に、いか を しさ こしょう する。

「ひじょう ていし、よし」「あんぜん ていし、よし」「すくりゆー かいてん、よし」
「きゅうていし そうち、よし」など

⑤ ざいりょう じゅんぴ、ざいりょう きょうきゅう

さぎょう したあと に、いか を しさ こしょう する。

「ひんめい、よし」「ざいりょう がえ、よし」「しょうきげん、よし」「いぶつ、よし」

「ざいりょう じゅんぴ、よし」「ざいりょう とうにゅう、よし」 など

⑥ かこう さぎょう

さぎょう したあと に、いか を しさ こしょう する。

「せつと、よし」「かたじめ、よし」「かた こてい、よし」「だい こてい、よし」

「どらむ、よし」「せいけいひん、よし」「おしだしひん、よし」「かこうひん、よし」 など